防護柵設置の準備から完成まで

「むら」あげての取り組み

8年間取り組んできた防護柵設置の準備から完成までの経過や設置作業とメンテナンス作業を報告します。

この報告は、

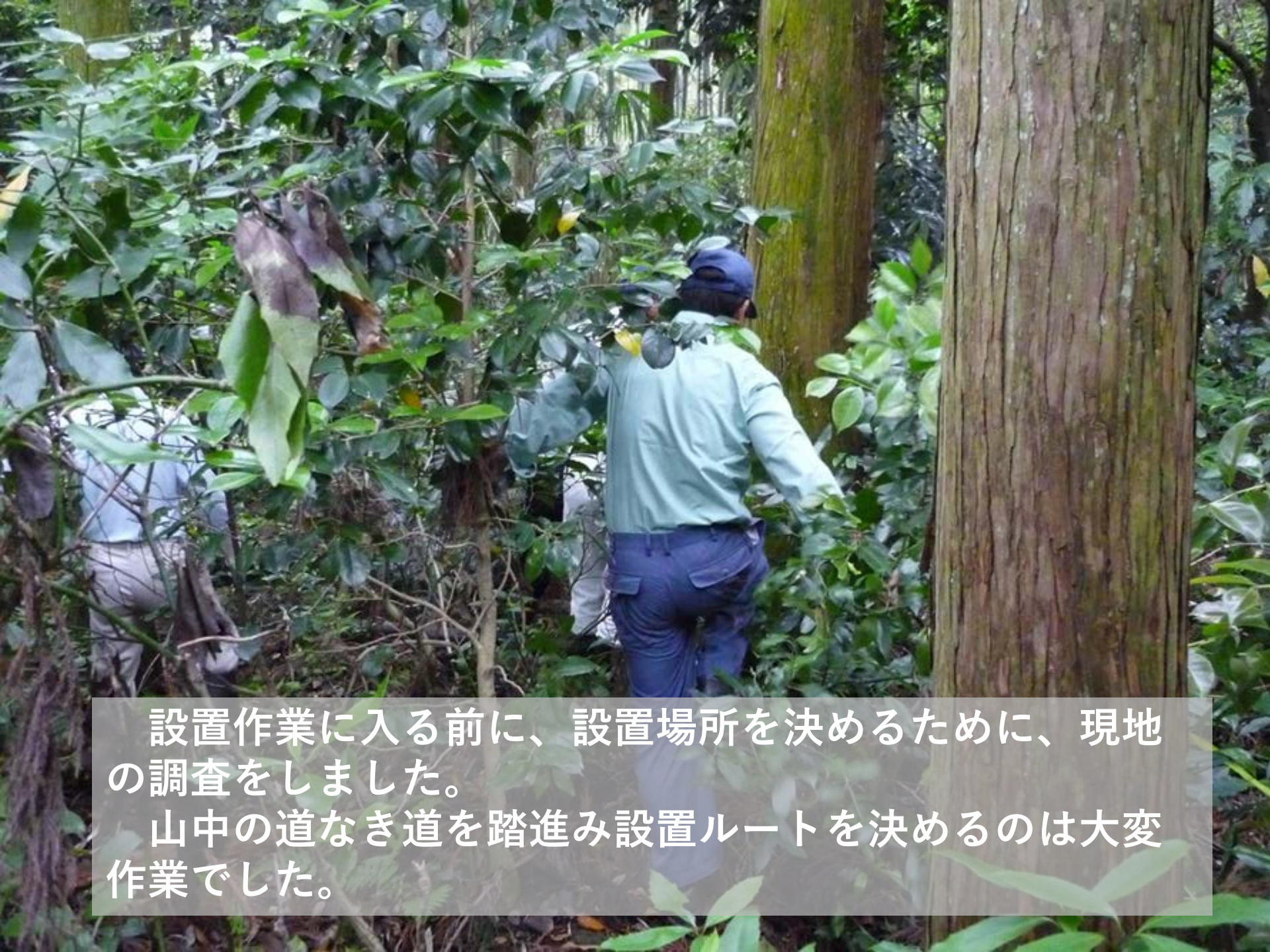
「視察・研修の受け入れ」

市内13集落、岐阜県大垣市上石津町三ツ里、県獣害担当者の研修会、滋賀県立農業高等学校、敦賀市林家組合長連絡協議会、県東近江農業農村振興事務所管内の野生獣被害集落の代表者など。

「出前講座」

市内3集落、長浜市農業委員会、長浜市の研修会、高島市今津町椋川など

で参加者に視聴していただいたものの要約版です。



　設置作業に入る前に、設置場所を決めるために、現地の調査をしました。
　山中の道なき道を踏進み設置ルートを決めるのは大変作業でした。

設置ルートが決まったら、いよいよ設置場所の雑木林、竹林、雑草などの伐採と刈り払い作業の開始です。

耕作放棄田は、イノシシやシカの隠れ家になり住み
家にもなりますので、草刈り機で狩り払いしました。

バックフォー等の重機が入れる所は業者にお願いしました。